

ペットの救急医療 理由1位は異物誤飲

～9月9日は救急の日～

アニコム損害保険株式会社(東京都新宿区:代表取締役社長 小森伸昭)では、グループ会社であるアニコム パフェ株式会社(代表取締役:島村麻子)と共同で、9月9日の救急の日にちなみ、診療時間外、夜間における動物病院への通院理由の集計を行ったところ、「消化器科疾患」(33.0%)での通院が最も多く、以下、「整形外科疾患」(13.3%)、「内科疾患」(12.3%)であることがわかりました。

疾患(症状)別の集計では、「異物の誤飲、誤食」が273件と全体の約14%を占め、「嘔吐」(106件、5.4%)「下痢」(73件、3.7%)、「骨折」(68件、3.5%)が続く結果となりました。

「異物の誤飲、誤食」、「骨折」などは、緊急に手術が必要となることもあるため、30～40万円という治療費がかかるケースも見られました。このような思いがけない事故を防ぐためには、ペットの周囲に原因になりそうなものを置かないなど、飼い主の日頃からの心がけが何よりも肝心です。

また、救急時に対応してくれる動物病院の情報を収集したり、応急手当の知識を身につけておけば、万が一の事故や病気の際にも慌てずに対応でき安心です。

※ アニコム損保の動物病院検索サイト <http://www.anicom-ah.com> では、夜間診療を行っている動物病院の検索をさせていただきます。

時間外・夜間通院の状況

	件数(件)	割合(%)
消化器科疾患	646	33.0
整形外科疾患	261	13.3
内科疾患	240	12.3
外科疾患	136	6.9
神経科疾患	105	5.4
その他	569	29.1
合計	1,957	100.0

疾患(症状)別集計(主なもの)

	件数(件)	割合(%)
異物の誤飲、誤食	273	13.9
嘔吐	106	5.4
下痢	73	3.7
骨折	68	3.5
跛行	55	2.8
外傷	49	2.5
帝王切開	29	1.5

<集計方法>

2007年1月～12月に時間外診療、夜間診療で請求のあった「どうぶつ健保」給付金請求データ(1,957件)を集計